

平成28年度 事業報告

法人全般

法人としての取組

■中長期計画の策定

本学園創立50周年から新たな一歩を踏み出した今、学園全体として進むべき方向性を一致させるため、建学の理念に基づくミッションを掲げ、各設置校が明確なビジョン（将来像）を策定し、これを達成するためのアクションプラン（道筋）を示すと共に、教職員がこれを共有し、内部質保証システムを構築することによって教育の質向上を図ります。平成28年度は、三大学においてビジョンとアクションプランが策定され、これに基づく事業を平成29年度は実施していきます。

■将来計画・構想

1. 三大学学長会議

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学の学長及び事務局長等による会議を毎月1回定期的に行い、各大学の近況を報告し、共通性のある課題の提案や検討をしています。今年度は中央教育審議会等の審議動向を踏まえ、大学教育の質的転換を実現するため、3ポリシーの見直し、また、ポリシーを起点とする教育の質保証などについて各大学の方向性を検討しました。また、各種規程改正や認証評価制度、補助金制度などを通して顕在化した教育研究、管理運営面の課題を検討しました。

■施設・環境整備事業

1. 事務系サーバの移設

岡山理科大学A1号館の建設に伴い、理大町内の事務系LANの再構成と敷設を7月下旬～8

月上旬にかけて実施しました。

①50周年記念館～25号館光配線の敷設

②高校1校舎～25号館光配線の敷設

③A2号館 計算機室内工事

④財務サーバ移転工事

⑤回線移転工事

⑥A1号館3F機器室内工事

⑦TV会議システムと理大町-倉敷-千葉等の内線電話回線の整備を順次行いました。

次いで、8月12日事務系サーバの移設を行い、理大町内のLAN回線の接続確認を行い一連の移設作業を終えました。

2. 省エネルギーの推進

省エネルギー推進委員会の定期開催の実施及び省エネルギーに対する教職員の意識向上に努め、原単位（エネルギー使用量を床面積で除した値）年間1%以上の削減を目指しましたが、平成28年度は原単位対前年度比3.1%増加しており、目標は達成できませんでした。来年度は1%削減出来るよう、より一層、力を入れて省エネに取り組めます。

3. 環境整備

学生生徒及び教職員にとってより快適な学習、研究及び職場環境の提供に努めました。理大創立当時に建築された第一学舎が取り壊され、平成29年3月、その跡地に芝生広場が完成しました。

■コンプライアンス体制の見直し

1. 瀬戸内海環境保全特別措置法及び水質汚濁防止法

瀬戸内海環境保全特別措置法及び水質汚濁法の改正に伴い、各種届出を行い、また特定施設（流し）の定期点検を行いました。

2. 土壌汚染対策法

岡山理科大学第一学舎、第1・2・10号館の建物解体に伴い、基礎部分が土壌汚染対策法に抵触するため適宜、岡山市との協議を行いました。

3. 水質汚濁防止法

総合排水口での排水基準値を遵守しています。

4. 建物環境衛生管理（ビル管理）の徹底

岡山理科大学A1号館が建築物衛生法に該当するため、定期的な水道水質検査が必要となり、7月及び平成29年1月に実施しました。

5. 障害者差別解消法への対応

平成28年4月施行の障害者差別解消法への対応として各大学で障がい学生の支援規程を整備し、研修及び啓発を行うとともに、障がい学生への対応窓口を設けるなど、環境整備等支援の充実を図りました。

■リスク管理

1. 防災計画の見直し

岡山理科大学A1号館の使用開始に伴い、消防計画に定める自衛消防組織編成を、これまでのA～Dの4ブロックにA1ブロックを加え5ブロック編成としました。

2. 災害対策

学園防災対策委員会を6月6日に開催し、火災・地震暴風雨等、危険物、交通、防犯の4小委員会から平成27年度の活動報告及び平成28年度の取り組み等の説明があり、承認されました。

職員に対する防災訓練、救急救命講習等の実施に加え、防災管理者を選任し、防災管理教育を行い、防災管理者による避難訓練を行いました。

学生及び教職員等に対する救命講習を実施しました。「防災週間」を踏まえ9月7日に、教職員を対象に新1号館（A1号館）の消防設備等について説明すると共に岡山市危機管理室職員により「岡山のぼうさい」と題して防災講演を実施し防災意識の高揚を図りました。

新1号館完成に伴い、新たな自衛消防編成により平成29年2月28日岡山市北消防署と共に消火、通報、避難訓練等消防訓練を実施しました。

平成28年度 救命講習実績

No.	開催日	研修対象	内容
1	5月25日	附属高校健康スポーツコース	普通救命講習会
2	6月3日	岡山理科大学生物地球学科	救命講習会
3	9月9日	岡山理科大学体育局	普通救命講習会
4	9月17日	岡山理科大学附属中学教職員	普通救命講習会
5	10月14日	岡山理科大学教職員	普通救命講習会
6	12月2日	岡山理科大学教育学部学生	救命講習会



■会計・監査体制の見直し

1. 会計システムのリプレイス

会計システムをA2号館に移動し、耐用年数超過のサーバーを更新し、各設置校との接続方法の見直しを行いました。

■教職員の人材育成

1. 職員研修

昨年より実施している階層別研修（初任者研修、役職者研修等）を実施しました。

テーマ/タイトル	研修対象
加計学園の職員として	新採用職員
新採用者研修会	新採用職員 (主に採用1、3年目)
全国的な傾向と3設置校の状況を概観して	学園職員 (主に大学職員)
『大学で起こるハラスメント 事例をもとに考える』	学園職員
『ハラスメントの加害者にならない為に!!』	学園職員
『異文化理解のために』研修および冊子制作打合せ	学園職員 (主に採用1～3年目)
各設置校見学	学園職員 (主に採用1～2年目)
役職者研修会	学園職員他
学園ビジョン・アクションプランの策定について	学園職員
「異文化理解のために」成果発表会	学園職員
『総合的危機管理について』	学園職員
障がい学生に対する合理的配慮を考える	学園職員
理大中期目標に対するKPI設定について (講演会)	学園職員 (主に大学職員)
理大中期目標に対するKPI設定について(グループワーク)	学園職員



2. 進化する自己点検・勤務考課

事務職員一人ひとりが、業務改善や連携の強化など活力ある組織を目指すべく、各部署・個人ごとに目標を持って取り組むようさらなる定着を図るため、次年度に向けて目標設定方法を見直し、進捗、達成度の見える化に向けた検討を行いました。

■労務管理

1. メンタルヘルス

ストレスチェック制度の導入に伴うメンタルヘルス不調の職員に対する職場復帰支援について、プログラム及び規程の検討を行いました。

2. 大学・中・高・専門学校非常勤講師の労働契約

労働契約法への対応として無期転換を踏まえた規程の整備を行いました。

3. 女性活躍推進法行動計画の策定

平成28年4月1日施行の女性活躍推進法に基づき、5ヶ年の行動計画を策定し、女性が職業生活において活躍出来る環境整備に取り組みました。

① 計画期間：平成28年4月1日

～平成33年3月31日

② 目標：労働者に占める女性労働者の占める割合を25%以上にする。

女性管理職を5名程度増やす。

4. 次世代育成行動計画の実施

次世代育成支援対策法に基づき策定した行動計画に沿って教職員が仕事と子育ての両立を図ることができる環境づくりに努めました。

■地域貢献・地域連携

1. 包括連携協定

児童福祉の充実と発展に寄与するため、9月30日に石井十次記念友愛社（宮崎県木城町）と、また、地域社会の発展と学術の振興等を目指すため、10月27日に鹿児島県始良市と、それぞれ包括連携協定を締結しました。

2. 地元企業・近隣町内会等との連携

地元をホームタウンとするプロスポーツクラブのファジアーノ岡山FC（サッカー）及び岡山シーガルズ（女子バレー）とのスポンサー契約を継続し、地元のスポーツ活動を支援すると共に、西大寺会陽への協賛や近隣町内会との交流等引き続き行い、地域との積極的な連携を図りました。

■その他事業

1. 「教育こそ、わが人生—加計勉伝」編纂
序章から終章まで計8章で構成する名誉理事長の伝記を作成しました。取材した関係者は100名以上、行政資料や文献なども多数収集して、B5判・約300ページの本にまとめました。
2. ケンブリッジ大学英語検定機構事務局の設置
グローバル化への取組の一貫で、ケンブリッジ大学英語検定機構の事務局を学園内に設置し、語学教育の充実を図るため、岡山理科大学附属中学校・附属高等学校及び岡山理科大学で一貫性のある教育プログラムの構築を推進しました。現在、附属中学校においては、中高一貫コースの総合学習の時間を利用し、ケンブリッジ英検の授業を展開しています。平成29年度も時間数を増加し継続実施することとしています。

国際交流関係

■教育交流協定校との交流プログラム

本学園は現在、18カ国70校の海外高等教育機関と教育交流協定を締結し、学生、教職員の交換、留学生やインターンシップ生受け入れなど多彩な国際交流プログラムを行っています。

既に四半世紀継続しているアメリカ学生研修団に対して岡山での最終日に岡山理科大学スカイテラスにて「KAKE国際祭り」を開催しました。研修団や地域住民の方々、ホストファミリー、学園関係者など500名以上が参加し、在籍留学生による中国、マレーシア、ベトナム、ネパール、理大ハラルレストランなどの国際屋台が出店しました。

なお、ブラジル学生研修団については、ジカウイルス感染症を考慮し、本年度は見送ることとなりました。

■第六回加計学園杯日本語弁論国際大会

第六回加計学園杯日本語弁論国際大会の地区予選を8～10月に11カ国計15会場にて開催しました。これら予選で選抜された15名の出場者による決勝大会を11月25日（金）に岡山理科大学にて開催しました。約500名の入場者が見守る中、出場者は「テーマ：わたしにとって一番大切なもの」について、熱弁を奮いました。最優秀賞には、中国・上海地区大会優勝者の周琳荟さんが輝きました。



■第七回加計杯日本語弁論大会

学園設置校に在籍している留学生による弁論大会の決勝を11月6日（日）に吉備国際大学にて開催しました。中国、韓国、スリランカ、マレーシア、ベトナム、ブラジルの計6カ国の留学生が出場し、スピーチを行いました。結果、個人での優勝は吉備国際大学のTRAN NGOCNAMさん（ベトナム）、団体では千葉科学大学が優勝しました。

■海外支局長会議

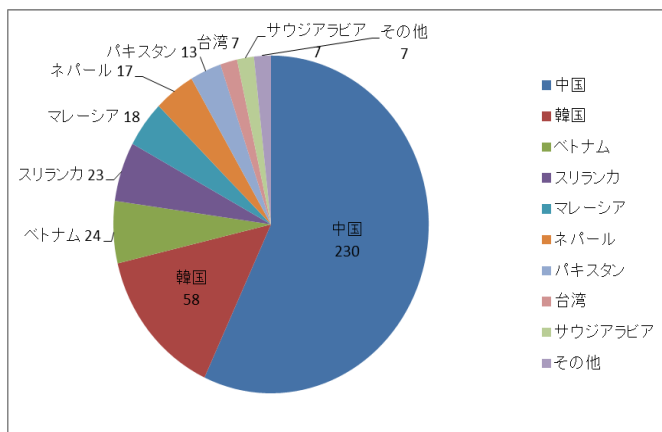
年に数回、海外支局長TV会議を開催し、勉強会・報告会を通じて海外支局長同士の連携を深め、情報交換を行っています。今年度は11月24日に平成28年度秋期海外支局長会議及び海外支局長勉強会を開催しました。

■教育交流協定校との交流プログラム

国名	計 画	実行
アメリカ	受入:ライト大学仕事体験生 2名(岡山理科大学) 受入:フィンドリー大学仕事 体験生2名(千葉科学 大学)	4~3月
台湾	受入:致理技術学院科目等履 修生3名(岡山理科大 学2名・倉敷芸術科学 大学1名)	4~2月
アメリカ	受入:フィンドリー大学学生 訪日研修団9名 受入:ライト大学学生訪日研 修団11名	6/27~ 7/20
台湾	受入:致理技術学院学生研修 団21名	5/25~ 6/2
韓国	受入:慶一学園生徒訪日研修 団30名	7/18~ 7/21
中国	受入:江蘇太倉中学校(高校) 学生訪日研修団28名	6/8~ 6/15
韓国	受入:韓国支局訪日文化研修 団25名	7/25~ 8/3
アメリカ	派遣:フィンドリー大学へ学 生研修団2名	8/11~ 9/6
アメリカ	派遣:ライト大学へ学生研修 団5名	8/11~ 8/3
中国	受入:江蘇省無錫堰橋中学研 修団	1/18~ 1/25
韓国	受入:湖西大学単位互換履修 生2名	9~3月
韓国	受入:全南女子商業高校生徒 研修団	1/16~ 1/18
韓国	受入:木洞高校高校生訪日研 修団	1/10~ 1/13
韓国	受入:正明高校高校生訪日研 修団	2/15~ 2/18
台湾	派遣:致理技術学院へ学生研 修団	3/2~ 3/9

■国別留学生内訳

(平成28年5月1日現在)



総数: 404名(15カ国)

■ 海外交流協定校（平成29年3月31日現在）

国名	教育交流協定校	校数
中国	南開大学、北京科技大学、雲南大学、中山大学、河南科技大学、東北師範大学、東北師範大学人文学院、中国管理軟件学院、北京城市学院、北京市実美職業学校、北京市求实職業学校、黒龍江中医薬大学、安徽外国語学院、河南城建学院	14校
	（留学生募集に関する提携校） 内モンゴル智力引進外語専修学院、北京平成日本語学校、成都瀨川日本語学校、四川外国語学院国際教育学院、西南交通大学外語学院国際項目部、深圳職業技術学院、明正日本語学校、南京卓越日本語専修学院、無錫運河実験中学校、長沙明照日本語専修学院、吉林動画学院、他	(31校)
韓国	慶一学園、金剛学園（永同大学、亨硯高校）、鶴山学園（東ソウル大学）、金龍学園（徳園女子高校、徳園芸術高校）、桂林学園（正明高校）、清錫学園（清州大学）、純心教育財団（純心高校）、湖西学園（湖西大学）、江原大学、金泉大学、大田保健大学、韓国防災協会、全南女子商業高等学校、木洞高校、礼ーデザイン高等学校	15校
台湾	大華技術学院、明新科技大学、南台科技大学、稲江科技暨管理学院、稲江高級商業職業学校、金甌女子高級中学、致理技術学院、海山高級工業職業学校、治平高級中学、財団法人崇右技術学院	10校
アメリカ	ライト大学、ハワイ大学、フィンドリー大学、シェネンドーア大学、グアム大学、ムーアパークカレッジ	6校
イギリス	サンダーランド大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所、ダービー大学	4校
スリランカ	ワヤンバ・ロイヤルカレッジ、マリヤデワ・カレッジ、マリヤデワ・バリーカウィッダヤーラヤ、マヒンダ・カレッジ・ゴール	4校
ブラジル	パラナ・カトリカ大学、パラナ連邦大学、バンデイランテス高校	3校
オーストリア	ヨハネス・ケプラー大学、リンツ工科造形芸術大学	2校
シンガポール	ニー・アン・ポリテクニク、シンガポール・ポリテクニク	2校
ベルギー	アントワープ王立美術アカデミー	1校
タイ	泰日工業大学、パトゥムワン・デモンストレーション・スクール、ワライラック大学	3校
フィリピン	フィリピン国立大学ロスバニョス校	1校
フランス	リヨンI大学	1校
カナダ	モホーク大学	1校
コスタリカ	コスタリカナショナル大学	1校
オーストラリア	アニマルインダストリーズリソースセンター	1校
コンゴ民主共和国	高等技術大学	1校
マレーシア	マラ工科大学医学部	1校
モンゴロ	モンゴル科学アカデミー古生物学研究センター	1校
メキシコ	日本メキシコ学院	1校

組織

■組織

法人本部事務局、理事長直轄機関、総長直轄機関について見直しを行い、平成28年度より新たな組織を編成しました。

4月1日付で、新学部設置準備局を新設し、岡山理科大学獣医学部の設置準備に関する業務を行いました。平成28年11月9日に第25回国家戦略特別区域諮問会議において、国家戦略特区における追加の規制改革事項（先端ライフサイエンス研究や地域における感染症対策など、新たなニーズに対応する獣医学部の設置）が決定したことにより、平成29年1月4日～11日の間で広島県・今治市国家戦略特別区域会議の構成員の公募があり、応募書類を提出し受理されました。平成29年1月20日には第3回広島県・今治市国家戦略特別区域会議にて加計学園が事業主体として選定され、同日、第27回国家戦略特別区域諮問会議において広島県・今治市国家戦略特別区域区域計画（獣医師の養成に係る大学設置事業）が内閣総理大臣に認定された事に伴い、平成29年3月31日付けで文部科学省へ加計学園寄附行為変更認可申請書及び岡山理科大学獣医学部設置認可申請書を提出しました。

■加計学園理事・監事・評議員概況

(単位：人)

区分	定数	常勤	非常勤	計
理事	9～13	7	3	10
監事	2		2	2
評議員	23～32	26	3	29

(平成28年5月1日現在)

■役員について

平成28年4月1日：柳澤康信理事就任

平成28年4月1日：木曾 功理事就任

平成28年5月30日：豊田三郎理事就任

平成28年5月30日：加計正弘理事就任

平成28年5月31日：赤木靖春専務理事退任

(理事は継続)

平成28年6月1日：内田修心専務理事就任

平成28年6月1日：北村良人常務理事就任

平成28年6月30日：木澤克之監事退任

平成28年7月12日：川添利賢監事就任

平成29年1月25日：豊田三郎理事退任

平成29年2月15日：大原謙一郎理事退任

学園の概況

■学園の沿革（抜粋）

- 昭和30年4月 加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
- 昭和36年9月 学校法人加計学園設置認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
- 昭和37年4月 岡山電機工業高等学校開校（全日制、電気科・電子工業科） 初代校長に神崎栄一郎就任
- 昭和39年1月 岡山理科大学設置認可
- 昭和39年2月 岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を岡山理科大学附属高等学校に名称変更
- 昭和39年4月 岡山理科大学開学（理学部応用数学科、化学科） 初代学長に加計勉就任
- 昭和42年4月 岡山理科大学附属高等学校第2代校長に内藤一人就任
- 昭和44年12月 真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
- 昭和48年10月 学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示の変更により、岡山市理大町と町名変更
- 昭和49年4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程（化学専攻、応用物理学専攻）を設置
- 昭和49年4月 岡山理科大学附属高等学校第3代校長に中尾寿夫就任、全寮制特別学級を全寮学級に名称変更
- 昭和50年4月 岡山高等建築専門学院設置認可
- 昭和50年5月 岡山高等建築専門学院開校（建築学科夜間部定時制） 初代院長に中尾寿夫就任
- 昭和51年4月 岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により岡山高等建築専門学校に名称変更
- 昭和53年4月 岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）材質理学専攻を設置
- 昭和55年4月 岡山理科大学第2代学長に、奥田毅就任
- 昭和55年4月 岡山理科大学附属高等学校第4代校長に松本卓三就任
- 昭和55年4月 岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第2代校長に片山誠二就任
- 昭和55年7月 寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に加計勉就任
- 昭和59年4月 岡山理科大学第3代学長に、黒谷寿雄就任
- 昭和61年4月 岡山理科大学工学部設置
- 昭和61年4月 岡山理科大学附属高等学校第5代校長に三宅寛就任
- 昭和61年4月 岡山高等建築専門学校を岡山理科大学専門学校に名称変更
- 平成2年4月 岡山理科大学第4代学長に、加計勉就任

平成2年4月 岡山理科大学大学院の理学研究科（修士課程 機械理学専攻、電子理学専攻、博士課程 システム科学専攻）を改組し、工学研究科（修士課程機械工学専攻、電子工学専攻、応用化学専攻、博士課程 システム科学専攻）を設置

平成4年1月 岡山理科大学附属高等学校第6代校長に加計晃太郎就任

平成4年4月 岡山理科大学附属高等学校第7代校長に渡辺己巳生就任

平成6年12月 倉敷芸術科学大学設置認可 初代学長に谷口澄夫就任

平成7年4月 倉敷芸術科学大学開学（芸術学部、産業科学技術学部、教養学部）

平成9年4月 岡山理科大学総合情報学部を増設

平成9年12月 玉野看護福祉総合専門学校設置認可

平成10年4月 玉野看護福祉総合専門学校を開校（保健看護学科、介護福祉学科） 初代校長に金政泰弘就任

平成10年4月 岡山理科大学附属高等学校第8代校長に三木輝知就任

平成10年4月 岡山理科大学専門学校第3代校長に村上侑就任

平成11年4月 倉敷芸術科学大学第2代学長に土井章就任

平成11年4月 倉敷芸術科学大学大学院開設（芸術研究科、産業科学技術研究科、人間文化研究科）

平成12年4月 倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に変更

平成12年4月 岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置

平成13年1月 学校法人加計学園第2代理事長・総長に加計晃太郎就任

平成13年4月 岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科（情報科学専攻・シミュレーション物理専攻・生物地球システム専攻・社会情報専攻）設置

平成13年4月 倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に芸術制作表現専攻博士（後期）課程、産業科学技術研究科に計算機科学専攻博士（後期）課程・機能物質化学専攻博士（後期）課程設置

平成13年4月 玉野看護福祉総合専門学校を、玉野総合医療専門学校に変更

平成13年4月 岡山理科大学第5代学長として、山村泰道就任

平成13年9月 岡山理科大学附属中学校設置認可

平成14年4月 倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置

平成14年4月 岡山理科大学附属高等学校第9代校長に北尾正幸就任

平成14年4月 岡山理科大学専門学校第4代校長に逢坂一正就任

平成14年4月 岡山理科大学附属中学校初代校長に善木道雄就任

平成15年4月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部コンピュータ情報学科（通信教育課程）、国際教養学部起業学科（通信教育課程）を設置

平成15年11月 千葉科学大学設置認可

平成16年3月 倉敷芸術科学大学専門学校設置認可

平成16年4月 岡山理科大学第6代学長に宮垣嘉也就任

平成16年4月 倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科、健康科学科を設置

平成16年4月 倉敷芸術科学大学国際教養学部教養学科及び起業学科募集停止

平成16年4月 倉敷芸術科学大学国際教養学部起業学科（通信教育課程）募集停止

平成16年4月 千葉科学大学開学

平成16年4月 千葉科学大学初代学長に平野敏右就任

平成16年4月 倉敷芸術科学大学専門学校開校

平成16年4月 倉敷芸術科学大学専門学校初代校長に岡本繁通就任

平成17年4月 倉敷芸術科学大学第3代学長に添田喬就任

平成17年4月 岡山理科大学附属高等学校第10代校長に橋爪道彦就任

平成17年4月 岡山理科大学附属中学校第2代校長に新倉正和就任

平成17年4月 岡山理科大学専門学校第5代校長に圓堂稔就任

平成17年4月 玉野総合医療専門学校第2代校長に岡田茂就任

平成19年4月 倉敷芸術科学大学専門学校第2代校長に伊藤敏夫就任

平成20年4月 千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科設置

平成20年4月 倉敷芸術科学大学専門学校を倉敷 食と器 専門学校に名称変更

平成20年4月 岡山理科大学第7代学長に波田善夫就任

平成21年4月 岡山理科大学専門学校第6代校長に小林正文就任

平成22年3月 倉敷芸術科学大学国際教養学部（教養学科、起業学科、起業学科（通信教育課程））を廃止

平成22年4月 千葉科学大学大学院薬科学研究科博士課程（後期）、危機管理学研究科博士課程（後期）設置

平成22年4月 千葉科学大学第2代学長に赤木靖春就任

平成22年4月 玉野総合医療専門学校第3代校長に高井研一就任

平成22年4月 倉敷 食と器 専門学校第3代校長に川上雅之就任

平成23年4月 倉敷 食と器 専門学校第4代校長に亀井秀人就任

平成23年10月 倉敷芸術科学大学第4代学長に唐木英明就任

平成24年4月 岡山理科大学生物地球学部設置

平成24年4月 岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科募集停止

平成24年4月 千葉科学大学大学院薬科学研究科を薬学研究科に名称変更、薬学科（6年制）を基礎とした薬学専攻博士課程（4年制一貫）を設置

平成24年4月 千葉科学大学危機管理学部に環境危機管理学科及び動物危機管理学科を設置

平成24年4月 岡山理科大学附属高等学校第11代校長に宮垣嘉也就任

平成24年4月 岡山理科大学附属中学校第3代校長に位田隆久就任

平成24年4月 岡山理科大学専門学校第7代校長に村岡正就任

平成24年4月 倉敷芸術科学大学別科に調理師別科、製菓衛生師別科設置

平成25年3月 倉敷 食と器 専門学校閉校

平成26年4月 倉敷芸術科学大学別科 調理師別科、製菓衛生師別科募集停止

平成26年4月 千葉科学大学看護学部設置

平成26年4月 認可外保育所 御影インターナショナルこども園 開園
平成26年4月 倉敷芸術科学大学第5代学長に土井章就任
平成27年4月 倉敷芸術科学大学第6代学長に河野伊一郎就任
平成27年4月 岡山理科大学附属中学校第4代校長に河村定彦就任
平成27年4月 玉野総合医療専門学校第4代校長に平井義一就任
平成28年4月 岡山理科大学第8代学長に柳澤康信就任
平成28年4月 岡山理科大学教育学部初等教育学科、中等教育学科を設置
平成28年4月 千葉科学大学第3代学長に木曾功就任
平成28年4月 岡山理科大学附属高等学校第12代校長に洲脇史朗就任

■設置校概況

平成28年5月1日現在
(単位：人)

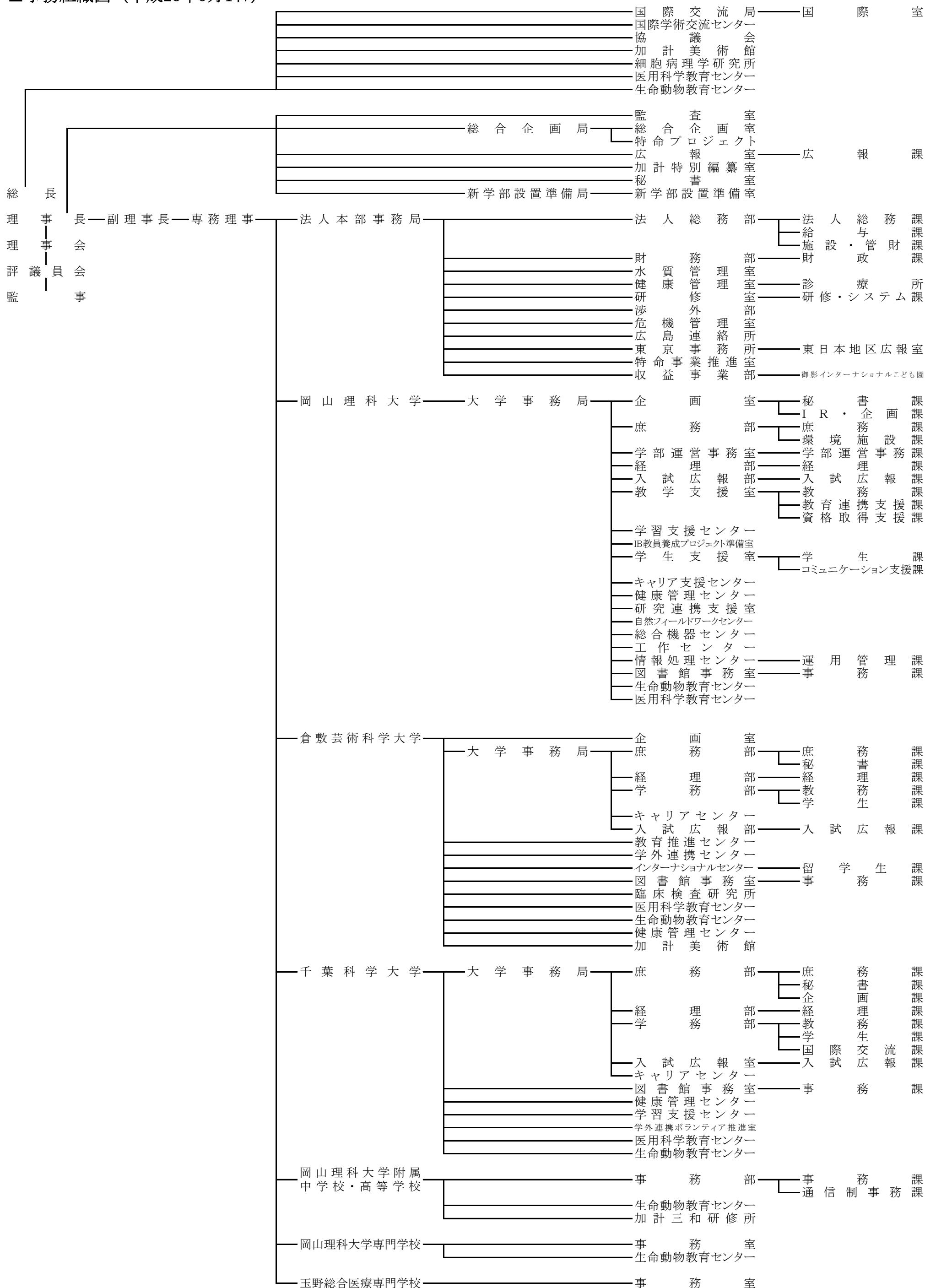
区 分	合計		教員	職員	計
	定員	現員			
岡山理科大学大学 (岡山市北区理大町1-1)	5,709	6,218	288	214	502
大学院	389	207		101 (本部) 113 (理大)	
理学研究科	191	111			
工学研究科	147	69			
総合情報研究科	39	22			
生物地球科学研究科	12	5			
学部	5,320	6,011			
理学部	2,080	2,340			
工学部	2,010	2,264			
総合情報学部	640	747			
生物地球学部	460	523			
教育学部	130	137			
倉敷芸術科学大学 (倉敷市連島町西之浦2640)	2,027	1,405	91	63	154
大学院	116	20			
芸術研究科	42	7			
産業科学技術研究科	44	7			
人間文化研究科	30	6			
学部	1,791	1,380			
芸術学部	424	325			
産業科学技術学部	383	150			
生命科学部	984	905			
大学院 (通信制)	120	5			
芸術研究科 修士課程	20	2			
産業科学技術研究科 修士課程	40	0			
人間文化研究科 修士課程	60	3			
千葉科学大学 (千葉県銚子市潮見町3)	2,386	1,957	139	52	191
大学院	66	27			
薬学研究科	47	8			
危機管理学研究科	19	19			
学部	2,320	1,930			
薬学部	880	740			
危機管理学部	1,200	916			
看護学部	240	274			
岡山理科大学附属高等学校	2,100	1,282	69	16	85
全日制	1,500	1,092			
通信制(1~3年定員:600名)	600	190			
岡山理科大学附属中学校	240	151	14		14
岡山理科大学専門学校	490	372	13	12	25
工業専門課程(建築)	120	135			
商業実務専門課程(映像情報)	0	0			
文化・教養専門課程 (動物看護, トリミング, トッグ, アグ)	370	237			
玉野総合医療専門学校	560	431	32	8	40
医療専門課程(保健看護、理学療法、作業療法)	480	397			
教育・社会福祉専門課程(介護福祉)	80	34			
合 計	13,512	11,816	646	365	1,011

※別科、専攻科等除く

学校法人 加計学園 法人本部	収容定員	在園者数		こども園 教職員	
収益事業 (御影インターナショナルこども園)	196	77		(5)	

()は本部職員内数

■事務組織図（平成28年5月1日）



財務関係

■資金収支計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	15,617,738,938
手数料収入	286,691,372
寄付金収入	489,416,418
補助金収入	1,919,922,928
資産売却収入	780,000
付随事業・収益事業収入	186,965,180
受取利息・配当金収入	49,883,379
雑収入	533,704,923
借入金等収入	2,702,040,000
前受金収入	2,242,468,350
その他の収入	2,316,577,262
資金収入調整勘定	△ 2,799,960,524
前年度繰越支払資金	19,401,012,024
計	42,947,240,250

支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費支出	11,344,557,711
教育研究経費支出	3,954,688,239
管理経費支出	1,485,334,693
借入金等利息支出	73,069,862
借入金等返済支出	2,894,685,000
施設関係支出	995,202,370
設備関係支出	678,943,299
資産運用支出	994,402,218
その他の支出	1,660,706,468
資金支出調整勘定	△ 421,987,579
翌年度繰越支払資金	19,287,637,969
計	42,947,240,250

■事業活動収支計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：円)

科 目		金 額
教育活動収入	学生生徒等納付金	15,617,738,938
	経常費等補助金	1,871,535,928
	その他収入	1,469,405,695
	計	18,958,680,561
教育活動支出	人件費	11,389,036,569
	教育研究経費	5,588,438,280
	管理経費	1,884,350,428
	その他支出	2,338,618
	計	18,864,163,895
教育活動収支差額		94,516,666
教育活動外	受取利息等	49,883,379
	借入金利息等	73,069,862
教育活動外収支差額		△ 23,186,483
経常収支差額		71,330,183
特別	その他の特別収入等	3,774,659,648
	資産処分差額等	227,593,939
特別収支差額		3,547,065,709

基本金組入前当年度収支差額	3,618,395,892
基本金組入額合計	△ 4,667,307,856
当年度収支差額	△ 1,048,911,964
前年度繰越収支差額	△ 13,943,141,123
基本金取崩額	69,000,000
翌年度繰越収支差額	△ 14,923,053,087

■貸借対照表（平成29年3月31日）

資産の部		(単位：円)
科 目	金 額	
固定資産	68,734,314,394	
有形固定資産	62,748,783,846	
特定資産	4,019,236,052	
その他の固定資産	1,966,294,496	
流動資産	21,370,263,280	
資産の部合計	90,104,577,674	

負債の部		(単位：円)
科 目	金 額	
固定負債	14,774,281,639	
流動負債	5,508,090,867	
負債の部合計	20,282,372,506	

純資産の部		(単位：円)
科 目	金 額	
基本金	84,745,258,255	
繰越収支差額	△ 14,923,053,087	
純資産の部合計	69,822,205,168	
科 目	金 額	
負債及び純資産の部合計	90,104,577,674	

■財産目録（平成29年3月31日）

財産目録		(単位：円)
科 目	金 額	
一資産額		
(一) 基本財産	67,262,582,782	
1. 土地	19,540,488,587	
借地権	388,140,000	
2. 建物	31,778,523,187	
(1)校舎	26,466,828,536	
(2)図書館	565,351,109	
(3)体育館	2,069,751,356	
(4)寄宿舎	322,559,789	
(5)倉庫	18,047,016	
(6)その他	2,335,985,381	
3. 建設仮勘定	159,024,000	
4. 構築物	1,102,184,308	
5. 図書	6,918,704,790	
6. 教具・校具・備品	3,226,293,863	
7. ソフトウェア	106,422,884	
8. 車両運搬具・船舶舟艇	23,565,111	
9. 特定資産	4,019,236,052	
(二) 運用財産	22,841,994,892	
1. 預金、現金	19,287,637,969	
2. 出資金	158,859,400	
3. 有価証券	1,393,681,477	
4. 未収入金	553,186,463	
5. 仮払金	12,894,999	
6. 差入保証金	99,903,170	
7. 前払金	120,981,137	
8. 貯蔵品	1,881,235	
9. 収益事業元入金	866,969,042	
10. 長期貸付金	346,000,000	
合 計	90,104,577,674	
二負債額		
1. 固定負債	14,774,281,639	
(1)長期借入金	10,128,832,000	
(2)学校債	3,310,000	
(3)長期未払金	791,112,390	
(4)退職給与引当金	3,851,027,249	
2. 流動負債	5,508,090,867	
(1)短期借入金	1,581,830,000	
(2)学校債	730,000	
(3)未払金	1,049,471,014	
(4)前受金	2,242,468,350	
(5)預り金	586,735,721	
(6)仮受金	46,855,782	
合 計	20,282,372,506	

■財務比率

事業活動収支計算書（平成26年度までは消費収支計算書）及び貸借対照表に基づく財務比率について、下表で本学園の経年比率を示した。

区 分			24年度	25年度	26年度	区 分			27年度	28年度
分類	比 率	算式（×100）				分類	比 率	算式（×100）		
貸借対照表	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	△17.0%	△18.3%	△17.1%	貸借対照表	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債＋純資産}}$	△16.0%	△16.6%
	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	89.8%	89.8%	88.7%		基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	85.9%	87.3%
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	89.7%	91.0%	94.1%		固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	99.3%	98.4%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金＋固定負債}}$	75.6%	77.3%	78.2%		固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産＋固定負債}}$	80.2%	81.2%
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	542.8%	473.7%	528.3%		流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	405.9%	388.0%
	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	917.2%	830.3%	803.7%		前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	865.2%	860.1%
	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	20.1%	19.9%	21.0%		総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	24.1%	22.5%
	負債率	$\frac{\text{総負債－前受金}}{\text{総資産}}$	17.3%	16.9%	18.1%		負債率	$\frac{\text{総負債－前受金}}{\text{総資産}}$	21.3%	20.0%
	基本金実質組入率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{基本金要組入額}}$	74.0%	73.1%	72.9%		基本金実質組入率	$\frac{\text{純資産}}{\text{基本金要組入額}}$	70.9%	71.9%
消費費収支計算書	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	58.2%	59.7%	57.8%	事業活動収支計算書	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	60.3%	59.9%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	28.8%	29.3%	27.8%		教育研究経費構成比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{事業活動支出}}$	28.2%	29.2%
	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	8.6%	9.5%	10.8%		管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	9.0%	9.9%
	消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	96.6%	100.6%	97.5%		事業活動支出比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	97.7%	84.1%
	経常経費依存率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	120.6%	124.8%	123.4%		経常経費依存率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	119.7%	122.7%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	80.1%	80.6%	79.0%		学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	81.8%	82.2%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	0.4%	0.5%	2.4%		寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.6%	18.5%
	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	13.5%	11.6%	12.1%		補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	9.3%	8.4%
	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	7.4%	4.4%	0.7%		基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	2.5%	20.5%

■国庫補助金等

設置校名	①	②	③	(単位：千円)		
	経常費補助金	大型機器補助金	G P等選定事業	その他国庫補助金	地方公共団体補助金	合計
岡山理科大学	805,120	36,613	2,500	10,380	548	855,161
倉敷芸術科学大学	263,206		12,692		121	276,019
千葉科学大学	364,583		6,207		311	371,101
岡山理科大学附属高等学校				4,783	322,845	327,628
岡山理科大学附属中学校					62,528	62,528
岡山理科大学専門学校					257	257
玉野総合医療専門学校					27,228	27,228
合計	1,432,909	36,613	21,399	15,163	413,838	1,919,922

①経常費補助金・・・私立大学等経常費補助金（一般補助、特別補助）

②大型機器補助金・・・私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））及び私立大学等研究設備整備費補助金（私立大学等研究設備等整備費）

③G P等選定事業・・・大学改革推進等補助金（戦略G P、教育G P等）、科学技術総合推進費補助金等、文部科学省が選定し、支援を行う補助事業

■受託研究・共同研究・科学研究費補助金

設置校等名	受託研究	共同研究	科学研究費補助金	
			件数	補助金額
岡山理科大学	22 件	56 件	62 件	96,630 千円
理学部	4	14	28	35,530
工学部	9	26	14	26,130
総合情報学部	0	2	6	7,670
生物地球学部	5	4	8	12,350
教育学部	1	0	1	1,820
附属施設	3	10	3	6,240
その他	0	0	2	6,890
倉敷芸術科学大学	7	5	5	6,110
芸術学部	4	1	2	2,340
産業科学技術学部	1	2	1	1,820
生命科学部	2	2	2	1,950
千葉科学大学	6	5	30	28,105
薬学部	1	4	9	12,415
危機管理学部	5	1	12	10,660
看護学部	0	0	9	5,030
合計	35	66	97	130,845